玖波中だより No.１１

大竹市立玖波中学校　令和５年１１月１０日

学校教育目標「自他を大切にし，主体的に考え行動できる生徒の育成」

発行責任者　小田　大介　　文責　藤川　健二

写真で振り返る，文化の薫り高い一日

人の心を動かす力が，君にはある

１年劇『世界がアリスの夢だったら』
テーマ《夢と現実》
【劇の成功は夢じゃなかったで賞】
長いストーリーにもかかわらず，台詞を覚え，道具や背景作り照明や音響を協力しあって，夢の世界ではなく現実の成功を収めることができました。

２年劇『逢魔が刻』
テーマ《生きていることの大切さ》
【とことんこだわり成長し続けたで賞】
役になりきった演技，工夫を凝らした背景画や小道具の作成など，細部にこだわり，劇のグレードアップを達成し，学年を大きく成長させました。

３年劇『真夏のサンタクロース』
　テーマ《親の子に対する愛情》
　【チームワーク最強！感動を届けたで賞】
　後輩たちの見本となる最強のチームワークで，観客の涙を誘う名演技，本格的な道具や背景画，カラフルな衣装など観客の皆さんに感動を与えました。

全校合唱『空は今』

展示発表

地域・保護者の方からのメッセージ

○感動をありがとう。１年生，初めてとは思えない素晴らしい演技でした。背景画や衣装，小道具も劇によく合っていました。２年生，ぐっと演技力が up してさすが！と思いました。３年生，どの役の人も全員が自分の役割を果たそうと必死さが伝わりました。素晴らしい演技に自然と涙が出ました。

○皆さんの元気な姿を見て，私も元気をもらいました。それぞれの学年の劇は素晴らしかったですよ。久しぶりに感動しました。やっぱり玖波中学校は良い。最高です。

○文化祭の発表とても素晴らしかったです。劇の発表も３学年とも練習の成果が出て何より皆楽しく演じていてとても感動しました。これからも玖波中を応援しています。

○皆さんの努力の跡がとても感じられました。劇もさることながら，全校合唱もスゴイ！！

○オープニングの全員のエールから始まり，工夫された発表，長い台詞を暗記する努力が素晴らしく，感動しました。

○毎朝早くから登校していて「頑張っているなあ」と思っていました。今日の発表や作品を見て，一生懸命準備してきたことが伝わってきました。全校合唱もとても綺麗な歌声で感動しました。来年も楽しみにしています。

○伝統ある「玖波中　文化祭」私の子どもも頑張って取り組んでいたことを思い出しました。今日の皆さんもとても素敵でした。

○劇の長い台詞も気持ちをこめて，しっかりできていてオドロキでした。２年生の背景画が明暗，死生の比較を思わせるようで素晴らしかった。

○どの学年の劇もそれぞれ良かったです。多くの人の前で演技するのは，とても緊張したと思います。どんな劇にするのか，そのためにはどんな準備が必要なのか，話合いを重ねて毎日準備するのも大変だったことでしょう。でも，その大変さもみんなで経験すると，きっと楽しさも充実感も一体感も味わうことができたのではないでしょうか。内容は重いテーマでしたが，おもしろさもありながら涙が出るほどの演技力に引き込まれました。ありがとうございました。お疲れ様でした。

生徒の振り返りから

○初めての文化祭で何をすればよいのかわからなったり，背景画や劇が本番まで間に合うかとても不安だったけど先生や先輩に聞いたり，クラス全員で協力して無事に文化祭が終わらせることができてよかったです。先輩の劇を見て全てが完璧で本当にすごいなあと思いました。

○２回目の文化祭でした。劇は去年よりも良いものになったと思います。準備など大変だったけど，本番ではいろんな人たちに「良かったよ」と言ってもらえてとても嬉しかったです。来年の文化祭も楽しい文化祭にして成功させたいです。

○３年生の最後の文化祭を終えて，僕たちの１・２年生の頃に比べると，一人一人が成長したと思いました。ただ，これが最後だと思うと，とても寂しいです。みんなで協力して，最後にふさわしい劇が創れてよかったです。

保護者・地域の皆さまへ

文化祭当日は，ご来校いただき誠にありがとうございました。参観者の皆さまの温かい眼差し，心温まる拍手のお陰で，生徒たちの心に火を灯し，やる気スイッチが入ったものだと思います。今後とも本校教育動にご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

お願い

玖波中学校だよりの中で，生徒・保護者の写真や名前を掲載させていただくことがあります。また，学校だよりは学校のＨＰ（ホームページ）にも掲載いたします。文中の写真や名前の掲載を望まれない方は，その旨，学校までお知らせください。

生徒の頑張り（俳句，標語，川柳）

「けんみん文化祭ひろしま２３文芸祭(俳句)」入選

金行　信一(３年)
『夕立が　赤子のように　泣きわめく』
山中　理生(２年)
『帰宅した　みな寝しずまり　猫だけが　我をむかえる　八月の夜』

「大竹市文化祭川柳大会(ジュニア部門)」入選

兼題『読む』
中本みひろ(３年)
『読むことで　得られる知識　沢山だ』
井上　友里(３年)
『本開き　広がる世界　旅しよう』
森岡　優星(１年)
『新聞を　よめばよむほど　博識に』
兼題『時計』
住川　翔理(１年)
『空見上げ　流れる雲が　時計役』

帰宅した　みな寝しずまり

夕立が赤子のように泣きわめく

「大竹市公衆衛生推進協議会　環境と健康の標語コンクール」

大竹市公衆衛生推進協議会副会長賞
白石　希(２年)
『休めよう　目は一生の　パートナー』
大竹市公衆衛生推進協議会副会長賞
木林　龍希(１年)
『朝ごはん　しっかり食べて　フルパワー』
大竹市公衆衛生推進協議会特別賞
中田　翔真(３年)
『視力がね　下がるとあの子　見えないよ』

俳句や川柳，標語にふれることで次のような力が身につくと言われています
①世界を新しい目で見る力
②言いたいいことを的確に伝える力
③相手の伝えたいことを読み取る力
片意地張らず，気楽に創作してみてはどうでしょう。